

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

15	レポートの評価を受ける。講義を振り返り、自己評価を行う。今後の大学生活、学びについて計画を立てる。自己評価と今後について達成度評価レポートを書く。→S1、S2	講義・演習	達成度評価レポートを完成させて提出する。	0.5					
試	期末試験は行わない。								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	40	40	0	20	100		
総合力指標	知識・技術力	0	15	10	0	0	25		
	思考・推論・創造する力	0	15	5	0	0	20		
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10		
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	5	20		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5		
	問題を発見・解決する力	0	5	5	0	5	15		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
レポート	①		執筆ルールに従ってレポートを作成できているか、適切な文章表現ができているか、テーマに沿った情報を収集できているか等を、ループリックを使用して評価する。				提出したレポートにコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間にコメントする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①	✓	プレゼンテーションの構成、内容、表現技術、発表へのコメント、質疑応答等に対して、ループリックを使用して評価する。				講義中にプレゼンテーションの評価結果の発表とともにフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
その他	①	✓	演習への取り組み（練習や質疑応答）、課題の提出状況、提出された課題を総合的に判断する。「達成度評価レポート」から、意欲や成長を評価する。				提出物に対しては必要に応じてコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間、もしくは15回目にコメントする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	小川麻里子、向山秀、桑原修、菅田圭次、大塚篤也、坂本祐太、源裕介								
実践的授業の内容	プレゼンテーションの準備、実践など、グループワークを中心としたアクティブラーニングを行う。								
そ の 他	<p>大学での「学び」はこれまでの「学び」とは異なり、非常に多くの特別な能力（スキル）が必要とされる。健康科学大学では、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ（健康科学部）」、「スタートアッププログラムⅠ・Ⅱ（看護学部）」という大学初年次の演習系授業を中心として、これらのスキルの習得を目指している。本講義で習得を目指すスキルは、以下の3つである。</p> <p>(1) スチューデント・スキルズ (Student Skills)：大学での生活の仕方、図書館など施設の利用方法、メンタルヘルスの維持、グループワークでの基本、キャリアデザインなど →S1</p> <p>(2) スタディ・スキルズ (Study Skills)：書籍や文献の読み方、ノートの取り方、文章の書き方、レポートの作成方法、口頭発表の基本、学習成果の評価など →S2</p> <p>(3) アカデミック・スキルズ (Academic Skills)：問題の設定およびその解決に必要な情報の収集・分析方法、論理的かつ効果的な発表方法など →S3</p> <p>これらのスキルは重なり合う部分もあり、他の講義でも部分的にその習得を目指すことがある。本学の学生にはこれらのスキルを一早く習得し、自らの「学び」を深めていくことを期待する。</p> <p>本科目は対面授業として実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。また、今後の新型コロナウイルス感染症等の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。</p> <p>※必修の演習科目なので欠席や遅刻をしないように努めること。演習の欠席は3回までしか認められない。遅刻も1回で欠席0.5回の扱いになるので注意すること。</p>								